



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3508		
科目名	救援活動論		
担当教員	吉富 望		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 2		
講義室	1405	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	災害マネジメント領域		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E（学識・専門技能）専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 4－I（理解力・分析力）文章表現・数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（70%） I 1 理解・分析と読解（30%）		
教員の実務経験	陸上自衛隊に32年間勤務し、この間、災害派遣に備えた計画の作成および訓練を実施するとともに、2001年9月の高知県西南豪雨に際しては、高知県土佐清水市において災害派遣部隊を指揮しました。また、東日本大震災に際しては、防衛大学校の教授として米国および豪州の研究機関と協力して自衛隊、米軍、豪州軍による救援活動を研究しました。更に、日本国内の大規模災害に際する海外からの受援に関して日本赤十字看護大学などとの共同研究も実施しました。一方、地方公共団体の危機管理部署を中心とする救援活動については、東京都、宮崎県、横浜市、埼玉県和光市などで訓練・研修に参加し、改善の方向などについてアドバイスをを行いました。こうした実務経験で得た知見を授業に反映します。（第1回～第8回、第10回～第14回）		
成績ターゲット区分	成績ターゲット 能力開発の目標ステージの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	自然災害や大規模な事故が発生した時、災害対策基本法や災害救助法などにに基づき、被災者や被害者の救援活動が実施されます。救援活動には様々なものが含まれますが、消防による救急・救命活動から、警察、自衛隊、消防のレスキュー隊による捜索・救難活動、さらには避難後の被災者に対する避難生活支援、食糧や生活物資支援、医療支援といった生活支援など多岐にわたる支援が存在します。これらの救援活動には、自主防災組織などの地域の住民組織、企業、NGO、ボランティアなどが密接に関係します。こうした自治体、消防、警察、自衛隊、自主防災組織などのファーストレスポnder（初動対応者）による救援活動の実態を、法制度の側面も踏まえながら、具体的かつ理論的に考察することにより、救援活動に関する理解を深めることを目標とします。 なお、授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 捜索・救助、救急・救命、生活支援		

授業の趣旨	■副題 国内外における様々な救援活動の実態 ■授業の目的 まず、国内と国外では救援活動の根拠となる法、制度が全く異なることを認識し、その上で、効率的な救援活動を行うために官と民が個別に又は協力して実施していることに関する知見、並びに救援を提供する際の方法と受援する方法に差異についての知見を身に付け、救援活動について多様な視点から説明できるようになることを目的とします。 ■授業のポイント 国内でも海外でも、大規模な災害や事故に見舞われた地域での救援活動は、各種法制度に基づき平素とは異なる多様な組織間関係の中で展開されます。この際、組織間調整が円滑に進まず、活動に支障をきたす場合があります。この授業では、被災者・被災地ファーストの救援活動を行うための各組織個別ならびに組織間連携のための工夫や努力について学びます。	
総合到達目標	大規模な災害や事故における救援活動について、場所（国内、国外）、主体（官、民）、態様（支援、受援）、組織間連携の視点から説明できるようになる。 ・国内での救援活動について説明できる。（第2回～第9回）このうち、官の活動（第3回～第5回）、民の活動（第6回～第7回）、支援（第3回～第7回）、受援（第8回）、組織間連携（第9回） ・国外での救援活動について説明できる。（第11回～第14回）このうち、官の活動（第12回～第13回）、民の活動（第14回）	
成績評価方法	・授業内テスト×2回（60%）適用ルーブリック E1・I1（フィードバック方法）テストの次の授業中に解説します。 ・リアクションペーパー×12回（40%）適用ルーブリック E1・I1（フィードバック方法）次の授業中に解説します。 ・授業参加度×13回（10%）適用ルーブリック E1・I1	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義のテーマや内容、スケジュール、評価方法について説明できるようになる。また、災害救援の全体像について説明できるようになる。（E1、I1） 担当教員の実務経験を踏まえて、災害救援の全体像について解説します。 ③予習（120分） シラバスを読み、災害救援について調べてみる。 ④復習（120分） 災害救援の全体像について、興味がある部分を更に調べてみる。
	2	①授業テーマ 国内における災害救援の概要 ②授業概要 国内における災害救援の概要（法律、制度、組織、官民の関係）について説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国内における災害救援の概要について解説します。 ③予習（120分） 災害対策基本法に目を通す。 ④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べてみる。
	3	①授業テーマ 国内における災害救援（国の活動） ②授業概要 国内における災害救援の中で、国（自衛隊を除く）の役割について説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国内における災害救援における国の活動について解説します。 ③予習（120分） 災害救援における国の活動について自分なりに調べる。

	④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
4	①授業テーマ 国内における災害救援（地方公共団体の活動） ②授業概要 国内における災害救援の中で、地方自治体の役割について説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国内における災害救援における地方公共団体の活動について解説します。 ③予習（120分） 災害救援における地方公共団体の活動について調べる。 ④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
5	①授業テーマ 国内における災害救援（警察、消防、自衛隊による救援） ②授業概要 国内における災害救援の中で、警察、消防、自衛隊の活動について説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国内における災害救援における警察、消防、自衛隊の活動について解説します。 ③予習（120分） 災害救援における警察、消防、自衛隊の活動について調べる。 ④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
6	①授業テーマ 国内における災害救援（民間の活動①） ②授業概要 国内における災害救援の中で、民間（企業、団体）の活動について説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国内における災害救援における企業・団体の活動について解説します。 ③予習（120分） 災害救援における企業・団体の活動について調べる。 ④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
7	①授業テーマ 国内における災害救援（民間の活動②） ②授業概要 国内における災害救援の中で、民間（住民）の活動について説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国内における災害救援での住民の活動について解説します。 ③予習（120分） 災害救援における住民の活動について調べる。 ④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
8	①授業テーマ 国内における災害での外国からの救援受け入れ ②授業概要 国内における災害での外国（国際機関を含む）からの救援受け入れについて、東日本大震災を例として説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国内における災害での外国からの救援受け入れについて解説します。

	③予習（120分） 東日本大震災の際の外国からの救援受け入れについて調べる。 ④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
9	①授業テーマ 国内における災害救援での官民連携 ②授業概要 国内における災害救援の中での官（国、地方公共団体、警察、消防、自衛隊）と民（企業、団体、NGO、ボランティア）との連携について説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国内における災害救援での官民連携について解説します。 ③予習（120分） 災害救援における官民連携について調べる。 ④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
10	①授業テーマ 授業内テスト（1） ②授業概要 第2回から第8回までの授業で学修した内容を確認し、国内における災害救援について説明できるようになる。（E1、I1） テストは短答式および論述式で行います。 （フィードバック方法）次回の授業の際に解説します。 ③予習（120分） 第2回から第9回までの授業で学修した内容を確認する。 ④復習（120分） テストを振り返って理解不足の点を再確認する。
11	①授業テーマ 国外における災害救援の概要 ②授業概要 国外における災害救援の概要（法律、制度、組織、経緯など）について説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国外における災害救援について解説します。 ③予習（120分） 国外における災害救援について調べる。 ④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
12	①授業テーマ 国外における災害救援（国の活動：国際緊急援助活動） ②授業概要 国外における災害救援の中で国による国際緊急援助活動について説明できるようになる。（E1、I1） 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 （フィードバック方法）次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国外における災害救援（国の活動：国際緊急援助活動）について解説します。 ③予習（120分） 国外における災害救援（国の活動：国際緊急援助活動）について調べる。 ④復習（120分） 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
13	①授業テーマ 国外における災害救援（国の活動：紛争に起因する災害への救援活動） ②授業概要 国外における災害救援（国の活動：紛争に起因する災害への救援活動）について説明

	できるようになる。(E1、I1) 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 (フィードバック方法) 次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国外における災害救援(国の活動:紛争に起因する災害への救援活動)について解説します。 ③予習(120分) 国外における災害救援(国の活動:紛争に起因する災害への救援活動)について調べる。 ④復習(120分) 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
14	①授業テーマ 国外における災害救援(企業・団体の活動) ②授業概要 国外における災害救援(企業・団体の活動)について説明できるようになる。(E1、I1) 授業終了後にリアクションペーパーを提出します。 (フィードバック方法) 次回の授業の際にコメントします。 担当教員の実務経験を踏まえて、国外における災害救援(企業・団体の活動)について解説します。 ③予習(120分) 国外における災害救援(企業・団体の活動)について調べる。 ④復習(120分) 授業内容を振り返って興味がある部分を更に調べる。
15	①授業テーマ 授業内テスト(2) ②授業概要 第11回から第14回までの授業で学修した内容を確認し、国外における災害救援について説明できるようになる。(E1、I1) テストは短答式および論述式で行います。 (フィードバック方法) Google classroomで解説します。 ③予習(120分) 第11回から第14回までの授業で学修した内容を確認する。 ④復習(120分) テストを振り返って理解不足の点を再確認する。
関連科目	自然災害論(RMGT3503)、地域防災論(RMGT3505)、消防救急(RMGT3507)
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	内閣府防災『防災白書』 消防庁『消防白書』 警察庁『警察白書』 防衛省『防衛白書』
連絡先・オフィスアワー	・連絡先 初回授業時に告知します。 ・オフィスアワー 金曜日昼休み
研究比率	・危機管理領域との対応 災害マネジメント70%, グローバルセキュリティ30% ・危機管理学と法学とのバランス 危機管理学90%, 法学10%

